

松江だんだん

会報第3号



国指定重要無形民俗文化財〔佐陀神能〕演目：「八重垣」より

近畿松江会

ふるさと松江

作詞 近畿松江会

一

神話は語る

ご縁嬉し

熊野神魂も

だんだん
松江

二

千鳥お城

嫁が島に

松江大橋

だんだん
松江

三

蛭美味し

波に遊ぶ

勾玉湯の町

だんだん
松江

四

牡丹薫る

紫烟けむる

恵比寿シヨコホイ

だんだん
松江

八束路

中海

五本松

ふるさと

曲は 故郷（ふるさと）作曲 岡野 貞一

うたを追いし かの山・・・

※ 近畿松江会では歌詞を募集しています

ご応募は事務局へお問合せください

目 次

表紙題字	近畿松江会 顧問 和田亮介氏	
会歌「ふるさと松江」	作詞 近畿松江会	
目次「会報第3号」		1
第5回近畿松江会総会・懇親会「式次第」		2
同「参加者名簿」		3
同「ご挨拶・祝辞」近畿松江会会長 笈田 運三郎		4
松江市長 松浦 正敬		4
松江市議会副議長 山本 勝太郎		5
八雲地域協議会会長 石田 範子		6
同「総会・懇親会状況報告」		7
総会議事資料「平成21年度事業報告」		10
同「平成21年度収支決算書」		11
同「平成22年度事業計画（案）」		12
同「平成22年度収支予算書（案）」		13
同「会則改正（案）」		14
近畿松江会 平成22年度役員名簿		16
近畿松江会 「この一年」		17
寄稿集“松江だんだん”		20
会員名簿（中・小学校区別）		25
近畿松江会からのお知らせ		29
広告		30
編集後記		36

ご 来 賓

松江市市長	松浦正敬	美保関地域協議会委員	野田恵子
松江市議会副議長	山本勝太郎	玉湯地域協議会委員	伊藤利治
松江市産業経済部長	能海広明	宍道地域協議会教育	持田康史
松江市観光振興部長	森秀雄	福祉部会長	
松江開府400年祭 推進協議会専務理事	内田敏夫	八束地域協議会地域 まちづくり部会副部会長	門脇延雄
松江市秘書広報課長	杉谷薫	近畿安来会会長	漆原光芳
観光文化ブランド推進課長	小山厚	近畿出雲市会会長代行	大錦義昭
地域・交通政策課長	足立保	京都島根県人会会長	青木謙整
松江市議会事務局課長補佐	永島真吾	京都島根県人会副会長	下田弘子
島根県大阪事務所長	売豆紀修	京都島根県人会事務局長	下田陽子
八雲地域協議会会長	石田範子	関西浜田会副会長	芝村正紀
鹿島地域協議会副会長	宇藤志郎	関西頓原会会長	佐和田丸
島根地域協議会教育 まちづくり部会長	角田篤義	雲南市近畿ふるさと会会長	坂本成義

名 誉 会 員・ゲ ス ト

名誉会員 白木みのる (八束町)	ゲスト 下垣 真希 (浜田市)
三林 京子 (大阪市)	浮世亭いちぢく

会 員 出 席 者

青戸 哲哉(東生馬町)	赤井真一郎(大正町)	荒銀 昌治(安来市)	有田 嵩(宍道町)
井上 芳子(石橋町)	井上 隆吉(上東川津)	池尻 和子(宍道町)	石倉 文行(八雲町)
伊藤 征治(北堀町)	伊藤 雅義(宍道町)	内田 美二(上宇部尾町)	宇藤二男丸(鹿島町)
梅木 隆志(美保関町)	小川ますみ(京都市)	小川 龍朗(島根町)	面白 紘(本庄町)
隠木喜美子(北堀町)	押田 良樹(上乃木町)	柏木 薫(奥谷町)	神谷 紀男(上乃木町)
荻田運三郎(雑賀町)	荻田 莞爾(浜乃木町)	荻田チエミ(呉市)	荻田 京子(横浜町)
金山 富美(斐川町)	菊池 尅雄(東朝日町)	北林 栄(本庄町)	木原 貢(宍道町)
木村 恵吉(雑賀町)	木村八重子(東本町)	高本 薫(雑賀町)	小高 久始(宍道町)
小松 雅子(明石市)	木幡 晃正(宍道町)	木幡 泰三(宍道町)	宍道 弘志(中原町)
杉谷百合子(出雲市)	杉原 伸治(奥谷町)	澄川 光成(雑賀町)	皐月 禧暉(宍道町)
曾田 良子(古志原町)	竹谷 奨(八束町)	武田 和子(雑賀町)	達山 暢(西津田町)
田村 稔久(石橋町)	田中 晨子(宍道町)	鶴羽 孝子(西持田町)	寺前 澄子(新庄町)
鳥屋尾 勇(出雲市)	中村 博行(新町)	長谷川紀美子(玉湯町)	長谷川忠雄(灘町)
林 邦幸(温泉津町)	藤原 敬(東生馬町)	松井 恵(南田町)	松本 耕司(上本庄町)
光田 仁一(宍道町)	守田 宣昭(菟市)	森廣 洋子(上乃木町)	山内 和美(本庄町)
山崎 果(南田町)	山田 敬子(湘北台)	山根 一朗(東朝町)	山本 雅昭(鹿島町)
山本 洋(玉湯町)	和田 亮介(宍道町)		

友 情 参 加

伊賀井和子(大阪市)	遠藤 福栄(高槻市)	小川ちづる(大阪市)	小川 定男(大阪市)
苛原 孝子(明石市)	木須井麻子(京都市)	木村こずえ(劇団前進座)	島上 聰子(明石市)
多田 修(大阪市)	多田美智子(大阪市)	土田 和男(片原町)	西本つやこ(京都市)
福屋 篤子(八束町)	松井 臣央(京都市)	山本 洋子(大阪市)	脇田 健晶(大阪市)
脇田 茂子(大阪市)	川添 直子(大阪市)	上原あすみ(明石市)	佐陀神能御一行

会長挨拶



かりた
荻田運三郎
(雑賀町出身)

会長の荻田でございます。本日は皆様ご多用の中、第五回の近畿松江会にご出席をいただき、まことに有難うございました。

本席に、故郷松江市より松浦市長様はじめ多数のご来賓、又、近畿各市町村人会のトップ有志の方々を迎え、盛會に總會・懇親会を執り行うことが出来ますことを、主催者として、まことに喜ばしく光榮に存じます。

さて、五回目と申しますと、新しい松江市も誕生して五周年を迎えられましたが、松浦市長のもとで、県都松江市としての諸構想を着々と進められていることに、心から敬意を表するものでございます。

わが近畿松江会といたしましても、近畿と故郷松江を結ぶ“かけはし”として、微力ではございますが、今後も努力を傾けて参りたいと存じます。

さて本日も松江市のご好意で、無形文化財の佐陀神能のご一行がご来会下さり、先ほど心ゆくまで松江の古代芸能を堪能して頂いたところでございます。

また加えて本日は、松江出身で著名な白木みのるさん、そしてNHK朝の連続テレビ小説「だんだん」にご出演下さった俳優の三林京子さん、そしてこのあと、歌っていただきますが、島根出身で原爆の永井隆博士とゆかりのある、ソプラノ歌手・下垣真希さんの三人の特別会員を迎えました。このあとの懇親会で、皆様と共に歓を尽くして頂くよう、お願いを申し上げます。

簡単ではございますが、私の挨拶とさせていただきます。

本日はまことに有難うございました。

總會ご来賓祝辞



松江市長
松浦正敬

第5回近畿松江会の開催を心からお祝い申し上げます。荻田会長様、和田顧問様をはじめ、役員・会員の皆様に敬意を表します。

さきほどご披露されました佐陀神能は、今年ユネスコの無形文化遺産登録を控えており、世界的な宝となります。昨年からは佐太神社での夜の鑑賞ツアーも企画され、今年はさらに回数を増やして行われることとなっております。機会がございましたら、佐太神社にもお運びいただき、宮川会長はじめ保存会の皆様が披露される神能をご鑑賞いただければと思います。

さて、松江開府400祭は、来年フィナーレを迎えますが、その総仕上げとして来年の春から秋にかけて松江開府博を開催します。まち全体を博覧会会場に見立て、まち歩き観光を中心に楽しんでいただくものにしてと思っています。特に白潟地区では、旧町名等の歴史案内板もできました。本日は三林京子さんもお出掛けになっておられますが、NHKの「だんだん」のスタジオセットの松本そば屋を復元し、スティックビルの中にそば屋もオープンしましたので、十分お楽しみいただけるものと考えております。このほか、年間を通した様々なイベントも予定しており、観光客100万人を達成したいと思っています。

松江城を国宝にする取組みにも力を入れており、松江城を国宝にする市民の会では10万人の署名を集めていただきました。近畿松江会の皆様にも多数ご署名いただき感謝申し上げます。市でも国宝化推進室を設け、専門家による外部委員会も今月には立ち上げたいと思っています。

また、先日上海万博が開幕しましたが、11月

からは台湾で台北国際花卉博覧会が開催されます。本日お出かけになっておられる白木みのるさんの出身地であります八束町の牡丹も、台北市政府からの要請を受け出展します。台湾へのチャーター便も1月末頃に運航する予定ですのでこの機会に松江の観光、特産品についてPRを行いたいと思っています。

本日は、旧町村の地域協議会からもふるさとの便りを届けに7名の皆さんがお出かけになっています。ぜひ、この機会にふるさとを思い出していただきますとともに、新たな会員の確保につながるように期待しています。

結びに、近畿松江会のますますのご発展と、会員の皆様のご活躍を祈念いたしましてごあいさついたします。

親睦会ご来賓祝辞



松江市議会
副議長
山本勝太郎

ただいまご紹介にあずかりました松江市議会副議長の山本勝太郎でございます。

本日は、近畿松江会の総会にお招きをいただき誠にありがとうございます。

本来ならば、松江市議会議長が出席すべきところですが、公務出張のため出席できなくなりましたので、議長に代わり松江市議会を代表いたしまして、一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

この会も今年で5年目を迎えられ、こうして多くの会員の皆様のご参加のもと盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げる次第でございます。

昨年はこの会を松江市で開催いただきまして心から感謝申し上げます。

ちょうど松江開府400年祭の行事で12年に1度の船神事である「ホーランエンヤ」に併せての

開催であったことから、勇壮な伝統行事を十分にご堪能いただけたと思います。

さて、先ほど市長も申し上げたとおり、昨年から松江市のシンボルである「松江城」の国宝化に向けての動きが本格化いたしております。昨年9月に「松江城を国宝にする市民の会」が設立され、市議会も市民とともに活動するため「松江城を国宝にする松江市議会議員連盟」を立ち上げ、また、「市民の集い」や重要文化財の天守閣がある8都市を迎えた「お城サミット」では、多くの市民参加のもと国宝化に向けて気運が高まって参りました。

更には、市民の会が行っている署名活動では近畿松江会の皆様にもご協力をいただき、署名数が10万人を突破いたしました。この署名も今後も増え続ける見込みで、5月には国へ提出される予定であり、加えて今年2月に市役所内に松江城国宝化推進室が設置され、官民そろって早期の国宝化実現を目指し取り組んで参ります。

また、来年3月には近世を中心とした城下町松江の歴史・文化の新たな情報発信施設となる「松江歴史館」がオープンいたします。施設は、武家屋敷をイメージした外観で、展示室をはじめ、お茶や和菓子も体験できる施設となっており松江城周辺の町歩きの拠点となるもので、観光客の増加に寄与するものと期待いたしております。

そして、歴史館のオープンに併せて開府400年祭5年間の集大成となる「松江開府400年記念博覧会」が松江市全域で開催されます。これにより松江市の「観光ブランド化」「経済効果」「市民参加による郷土愛の醸成とひとづくり」につながるものと確信しております。

どうぞ、皆様方におかれましても是非、ふるさと松江にお帰りの際は開催中の開府400年祭を楽しんでいただければと思います。そして、皆様方の会社の方々、友人の方々にも是非、すばらしい松江をPRしていただき、来松いただければ幸いに存じます。

話は変わりますが、地方自治体におきましては、地方分権の進展や行財政改革の大きな流れの中で、財政力をはじめあらゆる面で自治体間の格差が広がり、自治体自身、大きな意識改革を求められておきまして、自治体本来の力量が問われているところでございます。

私ども松江市議会といたしましても、全国に誇れる松江の歴史、伝統、文化を大切に守りながら、それらを活かした、将来において希望もてるまちづくりを目指し、厳しい諸情勢の中ですがその基盤整備に松江市長と一緒に取り組む所存でございます。

結びに、本会のご発展とご参集の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、重ねて、松江市への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

懇親会ご来賓祝辞



地域協議会代表
八雲地区会長
石田範子

先ほどご紹介いただきました八雲地域協議会会長の石田範子です。どうぞよろしくお願いします。

今日は、第5回近畿松江会の総会・懇親会がこのように盛大に開催され、おめでとうございます。近畿松江会の皆様が、故郷松江を大切に思ってくださっていること、私たちに応援してくださっていることが、会報やこの会の雰囲気から伝わってまいりまして、心強くうれしい気持ちでいっぱいです。

そして、この会に鹿島町、島根町、美保関町、八束町、宍道町、玉湯町、八雲町の地域協議会の代表をお招きいただき、ありがとうございます。新松江市が誕生しましてから6年目を迎えますが、合併時には周辺7町に地域協議会が

設置されました。私たち地域協議会は旧松江市との融合一体化を図りつつ、それぞれの地域課題や問題の解決に努めながら、それぞれの地域の特色を活かしたまちづくりの推進に取り組んでいます。各町の紹介パンフレット等を封筒に入れさせていただきまして、ご覧ください。今日はこの会で皆様と交流を深めさせていただき、明日からの元気に繋げようと思っています。最後に、この場をおかりして八雲国際演劇祭のご案内をさせていただきます。以前より八雲国際演劇祭には格別のご支援をいただきありがとうございます。今年も、第4回八雲国際演劇祭が11月3日から7日まで八雲町で開催されます。前回同様、松江開府400年祭の事業に位置付けられていまして、各方面から応援を頂き準備が進められています。また、ご協力、ご支援よろしく申し上げます。そして、里帰りも兼ねられまして秋の八雲町にぜひお越しくださいませ。お待ちしております。近畿松江会の益々のご発展をお祈りしまして、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

.....
【松江歴史館】 TEL. 0852-32-1607



【八雲国際演劇祭】 TEL. 0852-54-2400



第5回近畿松江会総会・懇親会 状況報告

第5回近畿松江会総会・懇親会は、快晴の5月9日(日)11時からホテル阪神10Fのザ・ボールルームホールで開催されました。

松浦市長、山本市議会副議長をはじめとするご来賓の皆様25名、白木みのる、三林京子両名誉会員をはじめとする会員87名(友情参加を含む)、合計112名の皆様が12のテーブルに分かれ、福引賞品の牡丹が演壇を華やかに彩る中、総会は定刻11時に開催されました。

総会の司会は幹事長の有田嵩氏(宍道町)が担当しました。

冒頭、この1年間の「会員物故者」として「池尻正明氏(宍道町出身)」をご紹介します、出席者全員で黙祷の誠を捧げました。

心よりお悔やみを申し上げます。



■第一部(11時～11時30分)

ふるさと芸能披露

国指定重要無形民俗文化財「佐陀神能」

保存会の皆様が松江から駆けつけていただき、代表の宮川康秀様のご挨拶の後、勇壮にして素朴な神能を演じていただきました。あらためて故郷の歴史に思いを馳せ、心の洗われる思いがしたひと時でした。



■第二部(11時40分～12時)

総会

総会は小川龍朗副会長(島根町)のユーモラスな松江弁による「開会のことば」で始まり、菊田(カク)会長(雑賀町)がご挨拶をし、松浦松江市長からご来賓の祝辞をいただいて、所定の総会議事に入りました。

⇒(ご挨拶・ご祝辞内容は別掲)



議事は、竹谷奨事務局長(八束町)から平成21年度の事業報告と決算報告、平成22年度の事業計画と予算(案)の報告があり、杉原伸治監事(奥谷町)より監査報告がされ、皆様から拍手でご承認をいただきました。

続いて、名誉会員と幹事に関する「会則の改正(案)」が事務局長から提示をされ、満場一致で承認され、木村八重子副会長(東本町)の「閉会のことば」により、総会は無事に終了いたしました。⇒(総会議事資料は別掲)

■第三部(12時～12時30分)

ソプラノ歌手 下垣真希さん ミニコンサート

「長崎の鐘」で有名な永井隆博士は島根県のご出身(旧制松江中学卒)ですが、その永井博士とゆかりのあることから下垣真希さんのミニコンサートが実現しました。なつかしい歌、こころの歌をゆったりと静かに、やさしく深く歌い上げる下垣さんの歌声に会場全体が癒されたひと時でした。特に圧巻は、命と平和の尊さを歌と語りで綴った「わが心の歌 長崎の鐘」で、私たちに大きな感動を与え、あらためて平和の大切さをかみしめさせていただきました。



■第四部 懇親会(12時40分～15時)

下垣真紀さんのコンサートの余韻も冷めやらぬ中、松本耕司常任幹事(上本庄町)の司会で、いよいよ懇親会が始まりました。



冒頭に有田幹事長から、全ご来賓のご紹介をさせていただき、満場の拍手で歓迎させていただきました。

続いて、白木みのる様、三林京子様のお二人の名誉会員に壇上にあがっていただき、白木様(八束町出身)には同町出身の竹谷事務局長から、三林様にはご縁の深い和田亮介当会顧問(宍道町)から歓迎のブーケを贈呈し、お二人からは心温まるご挨拶を頂戴しました。

続いて、ご来賓を代表して、松江市議会副議長の山本勝太郎様、ご列席の地域協議会7名の皆様を代表して八雲地域協議会会長の石田範子様よりご祝辞を頂戴いたしました。お二人からは松江の現状についてのお話をいただき、一体感を強く感じることができました。

⇒(ご祝辞内容は別掲)

続いて、山本洋当会相談役(玉湯町)のご発声で「乾杯」をし、待望の懇親会へと移りました。今回最年長者の山本様からは中村草田男の「降る雪や 明治は遠くなりけり」の句を引用された「五月雨や昭和は遠くなりけり」のご感懐もいただきました。



テーブルごと、あるいはテーブルをこえての交流、又、記念写真などの懇親が続く中、お待ちかねの福引大抽選会が始まって懇親会も佳境を迎えました。

景品の内容は以下の9点でした。

(会員向け抽選)

- ①大根島直送「やっばー牡丹で賞1回目」15 鉢
- ②「好きだから松江のCDと、ゲゲゲの鬼太郎文房具セット」20 本
- ③大根島直送「やっばー牡丹で賞2回目」15 鉢
- ④松江市議会議長賞「島根の地酒、李白・国暉・豊の秋」3 本
- ⑤松江市長賞「シジミと出雲そばセット」3 本
- ⑥大根島直送「やっばー牡丹で賞3回目」15 鉢
(総当たり抽選)
- ⑦京都島根県人会副会長下田弘子様ご著書 6 冊
- ⑧名誉会員白木みのる様の「色紙」5 枚
- ⑨同・三林京子様の「色紙」5 枚と「手ぬぐい」
- ⑩テーブルごとの「ゲゲゲの鬼太郎文房具セット 10 本」の取り切りジャンケン合戦



近畿松江会の総会名物と言えば福引、福引と言えばやはり牡丹と言うことですが、他にも魅力的な景品が一杯で、争い？もなく、にぎやかに無事に福引大抽選会を終えることができました。福を引いていただいた下記の皆様に厚く御礼を申し上げます。

⇒(福引順)松江市産業経済部能海部長、同観光振興部森部長、松江開府 400 年祭推進協議会内田専務理事、近畿松江会荻田会長、松江市議会山本副議長、松江市松浦市長、京都島根県人会下田副会長、白木みのる名誉会員、近畿松江会和田顧問



そして、フィナーレはやはり我らが国歌「ふるさと松江」の斉唱で、今回は下垣真希さんにリードをしていただくという豪華版で、見事な大合唱ができあがりました。

万歳三唱は、新任の島根県大阪事務所の売豆起修所長に着任のご挨拶かたがた声も高ら



かをお願いをいたしました。

懇親会の「閉会のことば」は当会澄川光成副幹事長(雑賀町)が、皆様に心からの御礼を申し上げ、来年の再会を約すとともに、無事にご自宅にお帰りいただくようお願いして、なごやかに解散いたしました。

来年度の総会は3月の「松江歴史館」のオープンを記念して、松江市での開催を企画しています。奮ってご参加ください。

⇒(来年度総会案内は別掲)

平成 21 年 度 事 業 報 告

月 日	曜日	時 間	行 事 等 の 内 容	場 所	備 考
1月 9日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 「がんばれ島根」携帯ストラップ贈呈	加茂川館	京都島根県人 会主催
1月11日	日	9:00	役員会:同上応援	西京極陸上競技場	
1月17日	土	11:00	役員会:21年度スケジュールについて	京都四条南座	出雲の 阿国観劇
2月18日	水	18:30	役員会:総会・懇親会準備	大 柝	
2月27日	金	13:00	会長代行・事務局長:松江市訪問	関係機関	
3月 2日	月		総会案内発送		
3月18日	水	18:30	役員会:松江市訪問報告、総会・懇親会準備	大 柝	
3月24日	水	9:00	春の選抜高校野球「開星高校」を応援	甲子園	
3月28日	水	11:00	同上	〃	
4月15日	水	16:00	会計監査	竹谷設計事務所	
		18:30	役員会:総会・懇親会準備	大 柝	
5月 7日	水	18:30	役員会:総会、懇親会準備・役割分担等	大 柝	
5月15・16日	金・土	10:00	総会・ホーランエンヤ観覧ツアー	宿泊:松江市 なべや別館	
6月17日	水	18:30	役員会:総会会計報告、会報作成について	大 柝	
8月14日	金・土	11:00	夏の甲子園「立正大湘南高校」を応援		
8月19日	水	18:30	役員会:会報構成、島根県人会応援について	大 柝	
9月16日	水	18:30	役員会:会報校正、八束中学校応援について	大 柝	
9月16日	木	14:00	八束中学校2年生大阪商人体験研修応援	天神橋商店街	
10月21日	水	18:30	役員会 22年度総会までのスケジュール 近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会出場 劇団前進座観劇募集について	大 柝	
10月23日	金・土	13:00	会長・事務局長:松江市訪問	関係機関	
11月18日	水	18:00	役員会 平成22年度「会費」徴収案内 NPO法人「ASS松江」アンケート調査について	大 柝	
12月初旬			平成22年度年会費納付のお願い発送 平成22年度上期行事予定報告		

平成21年度 近畿松江会 収支決算書

(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

収入の部					単位:円
科目	予算額	決算額	比較増減	備	考
前期繰越金	0	0	0		
年会費	450,000	409,500	▲40,500	会員135名×3,000円=405,000円(21年度) 会員 1名×1,500円=1,500円(21年度) 会員 1名×3,000円=3,000円(20年度)	
総会費	1,978,000	1,617,000	▲361,000	ツアー バスコース 57名×24,000円=1,368,000円 ツアー ①コース 8名×16,000円= 128,000円 ツアー ②コース 1名×10,000円= 10,000円 ツアー ③コース 11名× 1,000円= 11,000円 祝儀 10名×10,000円= 100,000円	
寄付金	100,000	160,000	60,000	和田亮介氏 100,000円、荻田運三郎氏 60,000円	
広告料	200,000	227,000	27,000	39,000円×1名=39,000円、30,000円×1名=30,000円 26,000円×1名=26,000円、13,000円×2名=26,000円 10,000円×6名=60,000円、6,500円×2名=13,000円 5,000円×6名=30,000円、3,000円×1名= 3,000円	
雑収入	500	54,751	54,251	Tシャツ売上 26着×2,100円=54,600円、受取利子151円	
合計	2,728,500	2,468,251	▲260,249		

支出の部					単位:円
科目	予算額	決算額	比較増減	備	考
総会費	2,100,000	1,749,406	▲350,594	なべや別館支払 1,056,641円、観光バス代 519,745円、車中飲料代 車中飲料代 12,400円 観覧弁当代 69,720円、来賓手土産代 39,900円、 年会費返金3,000円(鳥屋尾 勇)、ツアー代返金48,000円(渡部 勇)	
広告費	42,000	42,000	0	年賀・暑中見舞い広告(山陰中央新報社)	
通信費	50,000	92,618	42,618	切手・ハガキ・メール便代	
印刷費	130,000	214,642	84,642	会報2号発行(250部)、案内状、会議資料	
事務費	15,000	27,344	12,344	文具、コピー紙等	
備品費	30,000	29,757	▲243	「近畿松江会」手旗2本	
旅費	30,000	34,500	4,500	松江市訪問2回	
雑費	63,824	34,360	▲29,464	松江市訪問手土産代 18,900円、甲子園応援お茶代 2,600円、 八東中学応援お菓子代 7,400円、払込手数料 5,460円	
振込料金負担	15,000	25,970	10,970		
借入金補填	52,676	52,676	0		
予備費	200,000	148,130	▲51,870	縁結びストラップ 9,450円(全国女子駅伝) ホーランエンヤ奉賛金 60,000円(松江市長) Tシャツ代 43,680円(大根島企画)、神楽奉納 祝儀5,000円(八坂神社) 大根島牡丹運送費 30,000円(くにびきJA): 県人会総会	
次期繰越金		16,848	16,848		
合計	2,728,500	2,468,251	▲260,249		

監査の結果、正確に処理、記載されていることを認めます。

平成22年2月17日

監 事 木 幡 泰 三 印

監 事 杉 原 伸 治 印

平成 22 年 度 事 業 計 画 (案)

月 日	曜日	時 間	行 事 等 の 内 容	場 所	備 考
1月15日	金	18:00	役員会 全国都道府県対抗女子駅伝激励会 「がんばれ島根」携帯ストラップ贈呈	加茂川館	京都島根県人会 主催
1月17日	日	9:00	役員会: 同上応援	西京極陸上競技場	
1月4日~21日	土	11:00	前進座初春公演「双蝶々雪の子別れ」観劇	京都四条南座	
2月17日	水	17:00	会計監査	竹谷設計事務所	
		18:30	役員会 総会までのスケジュール・総会案内状検討 森廣洋子さんの提案書について	大 柝	
2月23日	金	13:00	会長・幹事長・事務局長: 松江市訪問	関係機関	
3月 4日	木		総会・懇親会案内発送 機関紙愛称募集 映画「RAILWAYS」前売券募集 八雲国際演劇祭案内		
3月17日	水	18:30	役員会: 松江市訪問報告、総会・懇親会準備	大 柝	
3月22日	月	9:00	春の選抜高校野球「開星高校」応援	甲子園	
4月14日	水	18:30	役員会: 総会申込状況確認、総会準備	大 柝	
4月16日	金	7:20	近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	
5月 5日	水	18:30	役員会: 総会、懇親会準備・役割分担等	大 柝	
5月 9日	日	11:00	総会、懇親会 下垣真紀コンサート案内	ホテル阪神	
6月16日	水	18:30	役員会: 総会会計報告、機関誌発行について	大 柝	
以降毎月	第3水		役員会		
随 時			松江市校下小、中学校修学旅行、体験学習応援		
9 月			八束中学校大阪商人体験地産品販売応援	天神橋商店街	
10月			役員松江市訪問		
11月			近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会	箕面ゴルフ倶楽部	
			公演観劇 北島三郎 白木みのる(近畿松江会名誉会員)	大阪新歌舞伎座	
12月			平成23年度年会費納付のお願い発送 平成23年度上期行事予定報告		

平成22年度 近畿松江会 収支予算書(案)

(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

収入の部

単位：円

科目	21年度決算額	22年度予算額	比較増減	備考
前期繰越金	0	16,848	16,848	21年度より
年会費	409,500	456,000	46,500	152名×3,000円=456,000円
総会費	1,619,000	970,000	▲649,000	100名×7,000円=700,000円、27名×10,000円=270,000円
寄付金	160,000	100,000	▲60,000	
広告費	227,000	200,000	▲27,000	
雑収入	54,751	150	▲54,601	受取利子
合計	2,470,251	1,742,998	▲625,253	

支出の部

単位：円

科目	21年度決算額	22年度予算額	比較増減	備考
総会費	1,749,406	1,000,000	▲749,406	
広告費	42,000	42,000	0	年賀・暑中見舞い広告(山陰中央新報社)
通信費	92,618	60,000	▲32,618	案内状発送費等
印刷費	214,642	150,000	▲64,642	機関紙発行、案内状、会議資料
事務費	27,344	25,000	▲2,344	文具、コピー紙等
備品費	29,757	0	▲29,757	
旅費	34,500	53,000	18,500	松江市訪問
雑費	34,360	40,000	5,640	松江市訪問土産等
払込料金負担	25,970	25,000	▲970	
借入金補填	52,676	0	▲52,676	
予備費	148,130	347,998	199,868	
次期繰越金	18,848	0	▲18,848	
合計	2,470,251	1,742,998	▲625,253	

近畿松江会会則（改正案）

改正部分を示す

【名 称】

第1条：本会の名称は、「近畿松江会」（以下「本会」という）とする。

【会員・名誉会員】

第2条：本会の会員は、近畿地区及びその近接地に在住する松江市域出身者並びに縁故のある者とする。また、郷土の発展に寄与した功労者等であって、本会の趣旨に賛同した者を役員会の推薦により名誉会員とすることができる。

【目 的】

第3条：本会は、会員相互の親睦を図り、あわせて郷土の発展と活性化に積極的に参加・貢献することを目的とする。また

【事務局】

第4条：本会は、事務局を事務局長の勤務先に置く。

【事 業】

第5条：本会は目的達成のため次のことを行う。

- 1 会報及び会員名簿等の発行
- 2 親睦会等の開催
- 3 その他本会の目的達成に必要な事業

【役 員】

第6条：本会に次の役員を置く。

- | | | | |
|---|---|-------|-----|
| 1 | 会 | 長 | 1名 |
| 2 | 副 | 会 長 | 2名 |
| 3 | 幹 | 事 長 | 1名 |
| 4 | 副 | 幹 事 長 | 1名 |
| 5 | 事 | 務 局 長 | 1名 |
| 6 | 常 | 任 幹 事 | 若干名 |
| 7 | 幹 | 事 | 若干名 |
| 8 | 監 | 事 | 2名 |
| 9 | 顧 | 問、相談役 | 若干名 |

【役員を選任】

第7条：役員は次の通り選出する。

- 1 会長、副会長及び幹事長は役員の内選とし、総会で承認する。
- 2 事務局長及び常任幹事、幹事は会長が委嘱する。
- 3 監事は総会で選出する。
- 4 顧問、相談役は、会長が指名し、役員会の議決を経て、総会で承認する。

【役員職務】

第8条：役員職務は次の通りとする。

- 1 会長は、本会を代表し、その会務を総理する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 3 幹事長は、会長の指示をうけて、会務の運営・執行にあたる。

- 4 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故のあったときは、その職務を代行する。
- 5 事務局長は、会長の指示をうけて、会務の推進を図る。
- 6 常任幹事は、行事担当幹事、広報担当幹事、地域担当幹事として幹事長を補佐する。
- 7 幹事は、会務を補佐する。
- 8 監事は、本会の会計、会務の執行につき監査し、総会にその結果を報告する。
- 9 顧問、相談役は、役員会の諮問に応じ、会務について意見を具申する。

【役員任期】

第9条：役員任期は2年とする。但し、再任は妨げない。

【総会】

第10条：総会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 総会は、会長が招集する。
- 2 総会は、本会の最高意思決定機関であり、会務の報告、決算の報告、決算の承認、役員等の承認、会則の改正、その他本会の目的達成に必要な事項の審議を行う。
- 3 総会は、年1回の開催とする。但し、役員会が必要と認めたとき、または3分の1以上の会員から請求があったときは、臨時総会を開くことが出来る。
- 4 総会の議長は、会長が務める。
- 5 総会の議決は、総出席者の過半数による。可否同数の場合は議長がこれを決する。

【役員会】

第11条：役員会は次の通りの要綱にて開催する。

- 1 役員会は、会長、副会長、幹事長および副幹事長、事務局長、常任幹事、幹事、監事、顧問、相談役を以って構成する。
- 2 役員会は、会長が招集し、議長を務める。
- 3 役員会は、本会の執行機関であり必要な事項を協議、議決し本会の運営、事業の執行などにあたる。

【加入及び脱退】

第12条：本会の加入及び脱退は次の通りの手続きにより行うものとする。

- 1 本会に加入しようとする者は、所定の様式により会費を添えて申込むものとする。
- 2 本会を脱退しようとする者は、文書により会長に申し出るものとする。但し、3期間継続して会費の納入がないときは、退会したものとみなす。

【会計】

第13条：本会の会計は次の通り運営する。

- 1 本会の経費は、会費及び寄附金その他を以って充てる。
- 2 本会の会費は、年額3,000円とする。
- 3 本会の会計年度は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

【雑則】

第14条：本会を解散並びに本会則に定めなき事項若しくは疑義が生じた場合は、全会員の3分の2以上の賛成を得なければならない。

【附則】

- 1 本会会則は平成18年10月22日より実施する。
- 2 平成21年5月15日改正。
- 3 平成22年5月9日改正

近畿松江会 平成22年度役員

顧問	和田亮介	(宍道町)
相談役	山本洋	(玉湯町)
相談役	伊藤雅義	(宍道町)
会長	荻田運三郎	(雑賀町)
副会長	小川龍朗	(島根町)
副会長	木村八重子	(東本町)
幹事長	有田嵩	(宍道町)
副幹事長	澄川光成	(雑賀町)
事務局長	竹谷奨	(八束町)
常任幹事・行事	井上芳子	(石橋町)
常任幹事・広報	松本耕司	(上本庄町)
常任幹事・地域	井上隆吉	(上東川津町)
監事	木幡泰三	(宍道町)
監事	達山暢	(西津田)

近畿松江会この一年

第4回総会(平成21年5月15日)以後

第5回総会(平成22年5月9日)迄

☀ 平成21年

☆6月17日(水)6月期 三水会

- ・平成21年度総会、ホーランエンヤ観覧ツアー 総括
- ・会報第2号発行について協議。冊子とし、30～40ページを目標

☆8月14日(土)随意

- ・夏の甲子園「立正大湘南高校」を応援。新装甲子園は広く感じた



☆8月19日(水)8月期 三水会

- ・会報第2号ゲラ拝、修正加筆。発行部数250部、発送を9月第3週とすることを決定
- ・第47回「故郷応援団」みんなで楽しむ近畿島根県人会への応援として松江会より牡丹の鉢植を松江市へ提供を依頼し承諾を得たことを報告

☆9月16日(水)9月期 三水会

- ・会報第2号発行後の評価等、意見交換
- ・山本洋、近畿松江会相談役「米寿」の会。

☆9月17日(木)

松江市立八東中学校 2年生の天神橋 3丁目「天三おかげ館」にて大阪商人の心得を受講し、2丁目及び3丁目、2箇所です八東(大根島)特産品(牡丹苗、人参コーヒー、牡丹染めほか)の販売と観光PRを応援

【参加生徒等 男子7名、女子25名、引率教員5名 計37名】男女の比率？

今年で近畿松江会として2年目の応援、例年行事となる



※10月に八東中学校より体験活動を振り返って全員が感想を送ってくれましたので一部を紹介しします

門脇明日香さん

この間は、私たちの特産品販売をお手伝いいただき、ありがとうございました。皆様のおかげで、数多くのお客様が来て下さり、商品もほとんど完売しました。これも近畿松江会の皆様が私たちに商売に必要なことなどを、たくさん教えて下さったからだと思います。来年は次の2年生が修学旅行にいくと思うので、その時は、よろしくお願ひします。この度は、本当にありがとうございました。

地阪雄一郎さん

先日は僕達の特産品販売のお手伝いをしていただきありがとうございました。僕はお客さんと呼ばれ込むときに、どうしていいか迷っていました。その時近畿松江会の方々の呼び込み方を見て参考になりました。おかげでほぼ全ての商品が売れてとてもよかったです。今回は物を売ることのむずかしさと商売の楽しさが分かり、とても勉強になり楽しかったです。本当にありがとうございました。

門脇玲奈さん

このたびは、天神橋商店街での、商人体験では、お世話になりました。大阪のおばちゃんは、すごく手ごわく、悪戦苦闘していた私たちにとって、近畿松江会の皆様は、救世主のようでした。初めての体験に戸惑っていた私たちには、すごく心強かったです。これからも同じ松江出身の者として。もっと松江、八束の事を知ってもらえるようがんばります。今回の体験では本当にありがとうございました。

門脇汐里さん

9月17日は、私たちと一っしょに特産物販売をしていただき、ありがとうございました。私は特産物販売をするのは初めてだったので、なかなか声を出す事が出来なかったけど、近畿松江会の皆様が声を出してくださったおかげで、私も後半は声を出して売ることができました。近畿松江会の皆様が、松江に住んでいる私達よりも松江の事をよく知っておられて、すごいと思います。これからは松江の事を勉強して、松江の事をもっと知りたいです。本当にありがとうございました。お体に気をつけて、これからもがんばってください。

吉岡みのりさん

この間はどうもありがとうございました。私たちはふだんできない体験ができました。皆さんのちいさなアドバイスなどとても為になりました。印象に残っているのは「何が何円なの？」と聞かれて「たしかにそれを伝えていないなあ」と思いました。ちゃんとお客さんに伝えていない部分があったので「伝える」ことはとても大事なんだなあと思いました。この体験をふだんの生活や学校の中でいかしたいです

※八束中学校のみなさん、感想文を送っていただきありがとうございました。昨年購入した牡丹も春には見事な花が咲きました。今年も近畿松江会はみんなで応援します。これからも貴重な体験を糧に勉学に励んでください。



☆10月21日(水)10月期 三水会

- ・第34回近畿島根県市町村人会親睦ゴルフ大会出場について協議
- ・9月17日の八束中学校生徒体験学習感想文を紹介(皆がいい思い出に・・・)
- ・「前進座初春公演」観劇募集について協議 年度から会員へ広く参加呼掛け

☆10月23日(金)

- ・会長、事務局長、松江市役所、商工会議所ほかを訪問、平成22年度懇親会に「佐陀神能」来阪を打診。牡丹、毎年だんだん



☆11月18日(水)11月期 三水会

- ・松江市訪問報告
- ・NPO法人「ASS松江」より会員に対し、「ふるさと暮らし」意識調査アンケート承諾依頼を検討。平成22年度会費納入案内に同封することを決定

☀ 平成22年

- ☆1月15日(金) 役員有志
- ・全国都道府県対抗女子駅伝激励会に参加
「がんばれ島根」携帯ストラップを監督、コーチ、選手へ贈呈
- ☆1月17日(日) 随意
- ・全国都道府県対抗女子駅伝を京都西京極陸上競技場、沿道にて応援
- ☆1月4日(月)～21日(木) 随意
- ・劇団前進座初春公演「双蝶々雪の子別れ」観劇。来年の出し物は？楽しみに
- ☆2月17日(水) 11月期 三水会
- ・平成21年度会計監査を実施
- ・総会までのスケジュール確認、案内状検討
「がんばろう」と気勢



- ☆2月23日(金)
- ・会長、幹事長、事務局長、松江市役所、商工会議所、ほかを訪問、平成22年度懇親会での「佐陀神能」披露を決定
合併前町村代表で構成された地域協議会にて挨拶、第5回近畿松江会総会、懇親会へ是非ともご参加と呼びかけ
- ☆3月4日(木)
- ・総会・懇親会案内状を発送
近畿松江会機関紙愛称募集ほか同封
- ※機関紙愛称応募数は17種
選考は6月16日に松浦松江市長・和田顧問
荏田会長・有田幹事長・松本常任幹事により実施しました。採用者については近畿松江会からのお知らせのページで紹介

- ☆3月17日(水) 3月期 三水会
- ・松江市訪問報告
- ・平成21年度決算、平成22年度予算案を審議。
総会経費について検討
- ☆3月22日(月) 随意
- ・春の選抜高校野球「開星高校」応援。残念ながら向陽高校に1回戦敗退



- ☆4月14日(水) 4月期 三水会
- ・総会、懇親会次第について協議
白木みのる氏、三林京子氏の出席を確認
- ・会則改正(案)、両氏の「名誉会員」の項協議
下垣真紀ミニコンサート決定
- ※白木みのる氏、近畿振商會にて荏田会長と



- ☆4月16日(金) 有志
- ・第34回島根県市町村人会親睦ゴルフ大会に4組(12名)参加
団体戦8位、Gシニアの部澄川副幹事長優勝
- ☆5月5日(水) 5月期 三水会
- ・総会、懇親会準備 役割分担、席次ほか確認
- ☆5月9日(日)
- ・第5回総会、懇親会 於ホテル阪神ザボール・ルームホールで60鉢の牡丹が薫る中、11名参加、盛会のうち閉会

寄稿集 “松江だんだん”

会報のニックネームが「松江だんだん」と決まり、ハタと考えました。「ソーデ “会報”トシテ ハ コーカラ ドゲシタラ エダカネ？」

出た答えは誠に直截で、「松江に“だんだん”を言う」ページをつくらうということで、何人かの方に「ご無理を言ってご寄稿をいただきました。」

わが町・わが村・・を「語る」内容でも、「思い出」でも、「思い」でもすべて可とし、タイトルは「アツテモナテモ エワネ」、「スキニシテ ゴシナイ」としました。

お願いしたのはただ一つ。「松江松江と言っても広うござんす」ですので、旧市内であれ、在郷(ザイゴ)であれ、誰もがしらない大字・小字の細部にこだわってもらった方が「エダナイカ？」と言うことでした。

皆で語り継ぐ企画ですから、次号はあなたにお願いがいくかもしれせん。ソノ時はよろしくタノマスネ。まずはご一読ください。

■「ふるさと来待の思い出」

伊藤雅義(宍道町)

私は、1931年旧来待村に生まれ、高校卒業までその地で過ごした。人間誰しも誕生の地に愛着を持つが、故郷を離れて60年、今でも来待の名所・旧跡・風景・景観等が私の胸に刻まれている。

村の南部菅原地区に、菅原道真公が当地に誕生したという因縁で、村上天皇の天暦5年に創立された菅原天満宮がある。境内は椎の大樹がうっそうと茂った幽静な神域で、3月25日・8月25日の祭日には県内はいうに及ばず遠く鳥取地方からも参拝客があり大層賑わった。

特産来待石の採掘・加工現場を「石切り場」と称していたが、そこで働く筋骨隆々・赤銅色の石工達の姿が目につかぬ。家の土台石・屋根の棟石・灯籠などの製品は、来待駅の引込線から貨車で積み出されていた。来待の特産品であることに誇りを感じながら眺めていたものである。

村をほぼ南北に縦断し宍道湖に流れ込んでいる来待川の情景も想いだされる。この川は出雲風土記にも記載されており来待小学校開校百周年記念讃歌にもうたわれている。川の右岸に沿って桜並木が、左岸には樫(はぜ)の大木が植わっていた。入学式ごろ、桜が華やぐ様はととも素晴らしかった。樫は和蝋燭の原料となる樹木で、松江藩が延享年間に殖産政策の一環としてこの地方に奨励したものの名残だそうで、往時がしのばれた。

川の水は清冽で農業用水のほか生活用水としても使われていた。顔を洗ったり、野菜を洗ったり、洗濯をする人の姿も多く見かけられ、この川は生活とは切り離せない大切な役割を果たしていた。

また、川には急流・小流・淵・大小の自然石・い堰ありで変化に富んでおり、子供の恰好の遊び場でもあった。夏の日など、“水浴び”や“なべつけ”(平たい鉢にぬか団子を置き、まん中に穴をあけた白い木綿布で蓋をしておく、魚がえさを食べに入ってくる)などをして遊ぶ子供達の歓声が終日周囲の山々にこだましていた。

川の周辺にはこの川の水を活用した水車が数基見受けられ美しい農村風景を演出していた。

昔ののどかで、ひなげた来待の風情を今ももう見ることができないだろうが、もう一度ゆっくり訪れてみたいものである。

■「わが町、上東川津の歴史紹介」

井上隆吉(上東川津町)

私は昭和11年11月15日に上東川津町に生を受け、昭和33年大阪に就職するまで当地で、川津小学校、松江第一中学校、松江工業高校に通学してまいりました。

今回、「わが町、わが村・・」の寄稿依頼を受けましたが、特にこれほど思いつくことがありません。何を書こうかと思案して、本棚を見ていたら、いいものが見つかりました。

それは、「川津郷土誌」という本です。

この本は、昭和57年11月6日発行、編集川

津郷土誌編集委員会、発行所松江市川津公民館です。

その中から上東川津町に関する一部を紹介させていただきますので、皆さんに興味をもつていただければ幸いです。

(1) 東、西川津村誕生

明治 21 年 4 月 17 日市町村制が發布され上東川津村と下東川津村をもって東川津村として役場を大字下東川津に、西川津村と管田村を合併して西川津村とし、役場を大字西川津に置いた。

(2) 川津村の誕生

明治 36 年 4 月 1 日東川津村と西川津村を合併して川津村と改称して、八東郡屈指の大村となる。

(3) 松江市・川津村合併

川津村と松江市の合併は昭和 14 年 2 月 11 日に施行された。昭和 9 年に実施された津田村の合併に次いで第 2 回であった。

(4) 上東川津町の名所 嵩山

嵩山は標高 325,5 メートル。朝酌町と本庄、持田両町の境に立っています。

頂上から見た景色は日本一の庭園と紹介された方もおられます。また、頂上には「布自伎美神社」という神社があり、所在地は上東川津一番地となっています。祭事は 10 月 13 日です。

以上、私のふるさと、上東川津町の歴史の一端を紹介させていただきました。

皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

■「ふるさとへの想い」

荏田(カヲ)運三郎(雑賀町)

私は出雲大東の町家に生まれ、大東幼稚園を卒園して直ぐ家族が松江の洞光寺下の雑賀町六丁目辺りに引っ越しました。まもなく父の仕事の関係で栄町に転居して、新学期から雑賀尋常小学校一年一組に入学し四年生の終業まで、質素、勤勉の気風がかもし出されてきた「雑賀魂」を愛し、誇りを感じて育ちました。

家の都合で乃木福富町に移り、乃木国民学校に転校し、五・六年生を農園実習なども実践

し、戦時体制下でしたので軍人になろうと昭和十九年四月、松江中学へと進みましたが、勉学に専念できたのは一年次だけで、昭和二十年八月十五日、防空壕の中で終戦の玉音放送に聞き入りました。新学制改革による五年の高校生活の間、島根県庁舎の焼き討ち事件や母校赤山学舎の二度の放火事件は暗い思い出になりましたが、戦時のため国内外各地からの疎開マン達と一緒に学校生活を享受できたことを同期生一同生涯忘れません。

昭和二十九年十二月、大阪転勤により松江を離れてもう五十五年以上になりましたが、松江市を取り巻く中海や宍道湖や大橋川、そして神話や歴史や自然が、会の愛唱歌「ふるさと松江」を口ずさむとき、故郷の風景として重なってきます。

お世話になった郷土のために、具体的に何かできることはないかと考え、先般来「ふるさと松江だんだん基金」(ふるさと納税)にほんの気持ちだけ寄付を毎年送っています。

近畿松江会をどのようにして発展させるのか、会歌は歌詞の末尾を「だんだん松江ふるさと」と結んでいます。

会発展の鍵は、この「だんだん」つまり、皆さんに対する“感謝”しかない、自分に言い聞かせる昨今です。

(注) 荏田氏は、当会会長

■「ふるさとの思い出と思うこと」

竹谷 奨(八束町)

私のふるさとは八束町、大根島と言った方が通りがいいだろう。八束町には大きく本島と江島の 2 島、八つの地区があり、私は入江(にゅうこう)で生まれた。島を離れて 37 年目、いつの間にか大阪住まいが長くなってしまい、両親が他界してから帰島する機会もだんだん少なくなってしまったが、島の兄貴が頑張っている姿を見るにつけ救われる思いである。

私は 4 年前、まったく面識のなかった現会長、荏田さんのお誘いを受け近畿松江会へ加入した。加入後、ふるさとを思う気持ちが一段と強くなって来たのは言うまでもなく、「縁」であろうか

不思議なものである。

さて、島の思い出はたくさんあるが、今はもう見ることもない懐かしい風景の一つを思い起こしてみることにしよう。

三十数年前までは島の住民は船で松江、本庄、美保関、安来、米子へと渡っていたのであるが、汽船、合同汽船という最大定員100人ぐらいの連絡船が運航していた。中でも朝一番船、美保関―寺津―入江―馬潟―松江大橋南詰への航路は会社員、高校生、行商のおばちゃんなどで満船状態であった。

汽船と言えば、八束小・中学校では松江方面から赴任されている先生がほとんどであり、先の逆航路で通勤されていた。その先生方が島から転任される日に五色の紙テープで送ったのが懐かしく思い出される。汽船が棧橋を離れ、船長の演出でゆっくり付近を回航、テープが海につき、切れても姿が見えなくなるまでテープを握った手を振ったものであった。昨今では日本のあちらこちらでなくなっている風景とも言えるであろうが、当時は師弟の深い信頼関係があったように思う。

大根島は今、打ちきりとなった中海干拓事業により施行された堤防道路、また新しい架橋により車で往来が可能となり便利になった。なくなっていく風景もある中、牡丹はお陰さまで、島の特産として全国的に、世界的に販路を広げているものの、人参については行く末を案じられると聞く。また、中海の復旧事業も着々とすすめられていると聞く。島も中海も昔のように戻れないのは当然であるが、どのように変化、発展していくのか見守っていきたいと思うと同時に、少しでも応援、お手伝いが出来ないものかかと思うこの頃である。

■「青バス赤バス」

達山 暢(西津田)

名簿上、私の出身地は西津田となっていますが、実は松江市内を転々としています。最初に住んだのは石橋町ですが、乳児の頃であり、ここでの記憶はほとんどありません。近所に豆

腐屋さんや醤油蔵があって大豆の香りが濃い町だったような気がします。

次に住んだのが奥谷町。ちょうど北高(当時は一中)二本松の真下で、秋になると一中生が崖を滑り降りてきて庭の柿をくすねていったことを覚えています。一緒に北堀幼稚園に通う友達が何人かできました。

次は古志原町。現在はバイパス建設でその多くが埋め立てられた古志堤の近くにあった島根農大の官舎で、幼稚園年長から北堀(のち城北)小学校5年まで住みました。その間は松江市営バスの古志原―大学(のち古志原車庫―大学川津)バスで通っていました。子供の頃の思い出の多くはこのバス通学にかかるものです

市営バスは青バス、一畑バスは赤バスと呼ばれ、マイカー保有の少ない当時、まさに市民の足であったように思います。大雪の日は太いチェーンを巻き、苦しそうなエンジン音を吐きながら走っていたボンネットバスが懐かしいです。方向指示器も今では見ない跳ね上げ式でユーモラスでした。当時は必ず車掌さんが乗っていて、次の停留所名を案内したり車内で回数券を販売したり、ずいぶん恰好よく思えたものです。

次に移り住んだのが淞北台。ここから城北小学校-島大付中-松江北高へと通いました。現在は、西津田の生協病院近くに自分の棲み処を求め住んでいます。

私自身も転勤族で、社会人になってから松江―益田―東京―シカゴ―ニューヨーク―香港―神戸―大阪と転居の連続ですが、松江市内でもずいぶんと移り住んでいますね。それぞれの街にそれぞれの思い出はありますが、独力でバス通学を始めたあの頃が、どうやら自分らしさの原点のひとつに思えるのです。

■「枕木山からの独り言」

松本耕司(上本庄町)

お気づきになった方もあるのではないかと。新しくできた江島大橋のアーチの頂点から見る中海の眺望、その箱庭のようなパノラマ風景は思わず息を呑むほどに美しい。

その中海の島根半島側の一帯にあるのがわ

が故郷「本庄」であるが、この風景を見るたびに、本当にこんなところに生まれたのだろうかと思え思う。さすがに神々が選ばれし一帯である。(勿論、本庄はその一部にしかすぎないが)

母校の本庄中学校のHPによれば、本庄地区は松江市の東部に22.15キロ平方メートルを占め、北部は、島根半島の主峰枕木山の山裾に広がる平野であり、南東部は景勝中海に臨み大根島の彼方に大山を望む。西は、宍道地溝帯の鞍部をこえ松江市街に至るとある。

本庄の小・中学校の校歌にも、「北に聳ゆる枕木」や、「錦の海(中海)のそのほり」などと、自然の地形そのものが誇らしく読み上げられており、農林業を主とし、中海漁業に支えられた地域として、又、松江から美保関、大根島への、更には日本海側の浦々の町への陸・海の交通の要衝として、旧くは島根郡の、後には八東郡の大邑として歴史を重ねてきた地域である。

昭和30年の松江市合併の時には、小学3年生として昂ぶった気持ちで奉祝旗行列に参加したことを覚えているが、今から思えば本庄の古きよき時代はそこらあたりまでではなかったかと思う。

やがて、車社会の到来とともに、本庄はただの通過点になり、私が高校生の頃の昭和38年に始まった「中海干拓事業」で中海の景観が変化していくとともに、本庄が時代の波から取り残されていくのを40年近くの間、帰省の度に感じていた。

その本庄も、皮肉なことに「中海干拓の中止」とともに、新しい道路や道の駅もできて、元気を取り戻しつつあるように感ずることができるのは本当にうれしい限りである。

私は、と言えば、本庄の中では枕木山側の「川部」という集落の生まれで、枕木山を裏山として育った言わば北山山脈の山麓民族である。小学校の時に初めて枕木山頂から見た中海、大根島、美保関、日本海(時に隠岐)、そして松江方面の眺望は息を呑むほどに美しかったことを覚えている。

さすがに大人になってからは足が遠のいていたが、先日久しぶりに展望台からの景色を楽

しむことができた。中海につくられた堤防道路は顔にできた傷跡ではあるが、耐えられないというほどのものではなく、それはそれで年輪として景色の中におさまりつつあるように感じることもできた。

「中海干拓」の中止が平成14年に正式決定されるまで実に39年を要しているが、それでもまだ十分に美しい眺めであった。

枕木山と中海にはさまれた自然が景勝そのものである本庄。私自身も都会の生活で受けるストレスを幾度となくこの故郷の風景に癒されてきた。

開発が遅れたぶん、本庄は一周遅れで先頭を走っているのかもしれない(島根全体がそうかもしれないが)。自然や環境、伝統や文化を大切に守り、いつまでも心が洗われるような地域でありつづけて欲しい。今年もまた、お盆には肺の中一杯、故郷の空気を吸い込みたいと思っている。

■「夏休みと宍道湖」

光田仁一(宍道町)

近畿松江会から会報「松江だんだん」へ古里の思い出の投稿依頼があり、思いつくまま筆をとった次第です。

私の古里は、旧来待村小松であり、子どもの頃の思い出といえば、宍道湖を抜きにしては考えられません。と申しますのは、生家のすぐ前を旧国道九号線と山陰本線が並行して走り、それを北側に越えるとすぐ宍道湖だからです。

湖岸には十数本の松並木の先に来待石を積み重ねた三十メートル程の突堤があり、その西の方には、舟着き場と来待石を無造作に積み上げた堤防が続き、東側は小川が流れ込む砂浜があり、子ども達にとっては、夏のかっこの遊び場でした。

夏休みに入ると早朝、朝食も食わず水で練った「米糠(コメカ)」と「えびつきたも」、「えびを入れる手籠」の三点セットを持って湖岸へ急ぐ。友達に先を越されないように、「えび」のいそうな石積みのすき間近くに糠(ヌカ)をまき、えび取りを始める。さざ波が立ち始める八時頃になると

湖底のえびが見えにくくなるので、えび取りを止め、友達と漁を見せ合いながら家路につきま

す。
朝食後は、湖岸の松並木の木陰の遊び場に子ども達が集まります。

おしゃべり・水遊び・舟遊び(糸ゴムでスクリユーを回して走る手作りの舟)・魚釣り・なべつけ(直径一尺以上のすり鉢の底に、えさになる練った糠(ヌカ)をつけ、中央に魚が入る穴をあけた白布を鉢にくくりつけ湖底に沈め魚を取るしかけ)等々、楽しい遊びで昼食の時間を忘れることも度々でした。

午後は、昼寝をした後、同じ顔ぶれの友達が集まり、楽しみの水泳を始めます。異年齢の子どもの集まりだから、身長が異なるため、水が自分の首以上の沖へ出ない約束を個々が守るため、親の監視等がなくても水難事故は皆無でした。泳ぎや水遊びに飽きると、湖底の砂を足で堀り、「しじみ」をかき集め、頭からもぐってしじみ取りをし、体が冷えてくると、水から上って日向ぼっこや湖岸での遊びに夢中になり、時には、斐川平野に夕日が沈む頃まで遊んでいました。帰りには、皆で「さいなら三角また来て四角 四角はどうふ どうふは白い 白いは兎 兎は・・・」としり取り歌を歌いながら我が家に帰っていきました。

このようなのどかで楽しかった思い出は、八十歳を迎えた今でも鮮明に脳裏に浮かびほのぼのとした気持ちになります。しかし、現在は、昔楽しい遊び場だった湖岸は、新しい国道九号線が建設され、コンクリートの堤防と化し、往時の面影はなく、加えて湖水も水質汚染により水泳は禁止され、唯一昔の面影が残っているのは、斐川平野に沈む美しい夕日だけとなり残念に思います。

子どもは、友達との交わりや遊びの中で育つと言われます。昨今の子どもは塾通い、習い事も忙しい上に、ゲーム機や携帯電話に夢中になり、大自然の中での友達との自由奔放な遊びが阻害され、自然とのふれあいや友達との交流が少なくなっています。子どもの頃のこのような体験不足が望ましい成長に歪みを生じないか

と危惧しています。

最後になりましたが、近畿松江会の益々の発展をお祈り申し上げます。

■「余所者」の弁

山崎 泉(南田町)

私は生まれてから6歳までは大阪府箕面市、小学校6年間は両親の郷里である島根県大田市で暮らし、父の転勤に伴い二中から松江高校を昭和32年に卒業するまでの6年を松江で過ごしましたが、私は東北大学に進み、両親も転勤で松江を去り、後には親戚の一軒もないのです。私の松江在住6年は、才女中島みゆきの詞を借りれば「何も言葉に残る誓いはなく、何も形に残る思い出もない」若き日の微かな記憶をもって終わり、以来、学者になるつもりが裁判官になって各地を転じ、松江を訪れる機会もないまま、定年を迎え五十年余が過ぎ去った今、松江にとって、私はまったくの余所者に過ぎません。先年五十年振りに松江を訪れてみましたが、お城と堀川のほかに記憶に残る人も景色もほとんどが既に無く、私に関わりのある松江は既に私の記憶のなかにしか存在しないことを知るのであります。

ところで、私の属する「近畿松江会」の私の世代前後の会員諸氏も、松江を遠く去って既に久しく、近畿一円に居を構えておられるばかりか、おそらくは墓所も用意されておられるであろうところからすれば、現実の松江からは既に限りなく余所者に近く、故郷としての松江も既にその記憶のなかにしか存在せず、まさしく遠きに在りて想うほかないものとなっていて、諸氏が「近畿松江会」に集う意味も、記憶のなかの松江を皆で共有することにより、あるいは、現実の松江との繋がりがあってまだ余所者とはなっていない若い会員諸氏に接することにより、なにか現実の松江との絆が取り戻せたかのような気持ちに浸れるところにあるのではないかと、余所者の私には思えるのであります。

会 員 名 簿 (中・小学校区別)

平成22年7月2日現在

①より”ふるさと”に密着した「会員名簿」を編集したいと考え、松江市教育委員会から現在の
中・小学校区(通学区域)の資料をいただき、皆様からご申告いただいている「出身町」を
あてはめてこの名簿を作成しました。

②学校の統合、新設、学区の変更なども、いただいた資料の限りで表現しました。

③不具合、間違いがあります場合は、お許しいただきますとともに、事務局までご一報
いただければ幸いです。

⇒(注)島根大学付属小(中)学校は、市内全域が対象ですのでこの表には記載していません。
皆様からいただいた「出身町」のところに掲載させていただきましたので、ご了承ください。

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【一中校区】	
	<p>生馬小 (上佐陀町一部、下佐陀町、西生馬町、東生馬町、薦津町、浜佐田町一部)</p> <p>内中原小 (殿町一部、西茶町、東茶町、苧町、中原町、片原町、外中原町、内中原町、末次町、堂形町、砂子町、国屋町、黒田町一部、浜佐田町一部、千鳥町、南平台)</p> <p>城北小 (北堀町、奥谷町、東奥谷町、石橋町、大輪町、湊北台、法吉町一部、春日町一部、黒田町一部、菅田町一部)</p> <p>法吉小 (比津町、比津が丘、法吉町一部、西法吉町、春日町一部、黒田町一部)</p>
<p><石橋町></p> <p><内中原町></p> <p><奥谷町></p> <p><春日町></p> <p><片原町></p> <p><北堀町></p> <p><黒田町></p> <p><湊北台></p> <p><外中原町></p> <p><殿町></p> <p><中原町></p> <p><西法吉町></p> <p><東生馬町></p> <p><法吉町></p>	<p>井上 芳子(高槻市) 片岡 扶美子(芦屋市) 清水 良子(茨木市)</p> <p>田村 稔久(豊中市) 永井 ひろし(京都市)</p> <p>千葉 新一(池田市) 寺戸 すみ子(生駒市)</p> <p>柏木 薫(吹田市) 杉原 伸治(松江市)</p> <p>足立 猛(神戸市)</p> <p>土田 和男(大阪市)</p> <p>伊藤 征治(奈良市) 隠木 喜美子(枚方市) 平山 武秀(箕面市)</p> <p>六鹿 寿美(吹田市) 山口 茂(京都市)</p> <p>森脇 美紗子(豊中市)</p> <p>山田 敬子(吹田市)</p> <p>池田 康郎(宝塚市) 四方田 司(明石市)</p> <p>飯塚 満男(茨木市) 三島 薫(生駒市)</p> <p>佐々木 悦子(大阪市) 佐藤 栄治(西宮市) 宍道 弘志(吹田市)</p> <p>森山 博和(明石市)</p> <p>青戸 哲哉(大阪市) 青戸 俊夫(神戸市) 藤原 敬(松江市)</p> <p>由木 文彦(京都市)</p>
【二中校区】	
	<p>朝酌小 (西尾町、朝酌町、福富町、大井町、大海崎町)</p> <p>川津小 (菅田町一部、西川津町一部、上東川津町、下東川津町)</p> <p>母衣小 (末次本町、東本町、殿町一部、母衣町、北田町、南田町、米子町、向島町、西川津町一部、学園南、学園)</p> <p>持田小 (福原町、坂本町、川原町、東持田町、西持田町、上本庄町一部)</p>
<p><上東川津町></p> <p><末次本町></p> <p><西尾町></p> <p><西持田町></p> <p><東本町></p> <p><母衣町></p> <p><南田町></p>	<p>井上 隆吉(高槻市)</p> <p>山田 稔(富田林市)</p> <p>篠木 豊(大阪市)</p> <p>鶴羽 孝子(大阪市)</p> <p>木村 八重子(八尾市) 永江 幹雄(神戸市)</p> <p>川角 十四枝(高槻市)</p> <p>松井 恵(京都市) 山崎 晃(西宮市)</p>

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【三中校区】	
雑賀小 (栄町、新町、松尾町、雑賀町、堅町、本郷町、西津田一部、上乃木一部) 中央小 (天神町、白瀉本町、灘町、魚町、八軒屋町、和多見町、寺町、横浜町、幸町、袖師町、嫁島町、伊勢宮町、御手船場町、大正町、新雑賀町、東朝日町、朝日町、津田町、西津田一部、西川津町一部)	<p>○平成7年4月1日 白瀉小学校 + 朝日小学校 ⇒ 中央小学校</p>
<朝日町> <伊勢宮町> <雑賀町> <白瀉本町> <新町> <新雑賀町> <大正町> <堅町> <天神町> <灘町> <東朝日町> <本郷町> <横浜町>	岡田 清(大阪狭山市) 竹谷 曜子(大阪市) 宮内 玲子(大阪市) 足羽 俊子(西宮市) 奥村 伸子(豊中市) 小原 弘幸(枚方市) 蒯田 運三郎(明石市) 木村 恵吉(吹田市) 篠崎 一浩(芦屋市) 篠崎 治(神戸市) 澄川 光成(河内長野市) 高本 薫(大阪市) 武田 和子(宝塚市) 福間 則博(宝塚市) 吉田 郁子(豊中市) 中村 博行(名張市) 鳥谷 芳男(高槻市) 永井 彰(大津市) 仁宮 龍聖(高石市) 赤井 真一郎(大阪市) 望月 修一(豊中市) 篠田 恵美子(京都市) 熊野 禮助(箕面市) 長谷川 忠雄(奈良県北葛城郡) 長谷川 吉雄(枚方市) 菊池 尅雉(神戸市) 山根 一朗(明石市) 廣政 俣彦(吹田市) 蒯田 京子(松江市)
【四中校区】	
古志原小 (古志原一部、八雲台、上乃木一部、一の谷町) 津田小 (東津田町、古志原一部、西津田一部)	
【湖南中校区】	
○昭和50年4月1日 新設	
忌部小 (西忌部町、東忌部町、玉湯町一部) 乃木小 (上乃木一部、浜乃木町、浜乃木、乃白町、乃木福富町、田和山町、西嫁島)	
<上乃木> <古志原町> <西津田> <浜乃木>	神谷 紀男(堺市) 掃部 恵子(枚方市) 諏訪 秀富(茨木市) 諏訪 宏(大阪市) 田中 英明(交野市) 森廣 洋子(芦屋市) 岡林 加代子(神戸市) 曾田 良子(奈良市) 達山 暢(大阪市) 内部 茂(茨木市) 蒯田 莞爾(松江市) 牧野 千代美(大阪市) 村上 裕司(西宮市)
【湖東中校区】	
○平成5年4月1日 新設	
大庭小 (大庭町、山代町、古志原一部、佐草町、大草町、矢田町一部) 竹矢小 (矢田町一部、青葉台、竹矢町、馬瀉町、八幡町、富士見町)	
<大庭町> <山代町> <八幡町>	押田 良樹(吹田市) 井川 和美(三田市) 大野 徹(奈良市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【鹿島中校区】	<p>鹿島東小 鹿島町(御津、上講武、南講武、北講武、名分一部)</p> <p>惠曇小 鹿島町(惠曇、手結、片句、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部)</p> <p>佐太小 鹿島町(佐陀宮内一部、佐陀本郷一部、武代一部、古浦一部、名分一部)</p>
<鹿島町>	宇藤 二男丸(和泉市) 坂井 茂子(亀岡市) 竹内 昭雄(尼崎市) 山本 雅昭(大阪市)
【湖北中校区】	<p>○平成6年4月1日 古江中学校 + 秋鹿中学校 + 大野中学校 ⇒ 湖北中学校</p> <p>秋鹿小 (秋鹿町、岡本町、大垣町) ○平成22年4月1日 中島小学校 + 秋鹿小学校 ⇒ 秋鹿小学校</p> <p>大野小 (大野町、上大野町、魚瀬町)</p> <p>長江小 (東長江町、西長江町)</p> <p>古江小 (古曾志町、西谷町、古志町、荘成町、西浜佐陀町、上佐陀町一部) ○(予定)平成23年4月1日 長江小学校 + 古江小学校 ⇒ 古江小学校</p>
<秋鹿町>	竹田 洋一(西宮市)
【島根中校区】	<p>○平成16年4月1日 島根中学校 + 野波中学校 ⇒ 島根中学校</p> <p>島根小 (島根町) ○平成17年4月1日 大芦小学校+加賀小学校+野波小学校 ⇒ 島根小学校</p>
<島根町>	石橋 直之(富田林市) 小川 龍朗(京都市) 小川 勉(柏原市) 客野 伸(神戸市) 藤代 坦(神戸市)
【宍道中校区】	<p>大谷小 宍道町(上来待和名佐地区)</p> <p>来待小 宍道町(東来待、西来待、上来待)</p> <p>宍道小 宍道町(宍道、伊志見、白石、佐々布、昭和)</p>
<宍道町>	有田 嵩(寝屋川市) 池尻 和子(東大阪市) 伊藤 雅義(京都市) 太田 厚(加古川市) 太田 幸廣(神戸市) 小田 兼久(豊中市) 川島 俊雄(川西市) 木原 貢(豊中市) 小高 久始(堺市) 木幡 泰三(寝屋川市) 木幡 晃正(篠山市) 臯月 禎暉(宝塚市) 高木 征次(交野市) 武田 精(八尾市) 田中 晨子(枚方市) 土江 安雄(堺市) 永原 忠巳(茨木市) 光田 仁一(奈良市) 渡部 勇(宝塚市) 渡部 恵美子(宝塚市) 和田 亮介(豊中市)
【玉湯中校区】	<p>大谷小 玉湯町(大谷一部)</p> <p>玉湯小 玉湯町(布志名、湯町、林、玉造一部、大谷一部)</p>
<玉湯町>	黒崎 忍(西宮市) 長谷川 紀美子(奈良県北葛城郡) 山本 洋(川西市)

校区／出身町	通学区域・町名／会員氏名
【本庄中校区】	本庄小 (手角町、長海町、野原町、枕木町、邑生町、新庄町、上宇部尾町、本庄町、上本庄町一部)
<邑生町> <上宇部尾町> <上本庄町> <新庄町> <手角町> <本庄町> <枕木町>	松本 稔(川崎市) 内田 美二(伊丹市) 松本 育郎(堺市) 松本 耕司(枚方市) 寺前 澄子(高槻市) 北林 栄(堺市) 面白 紘(橿原市) 坪倉 司郎(川西市) 山内 和美(吹田市) 木島 光子(大津市)
【美保関中校区】	○平成7年4月1日 美保関北中学校 + 美保関南中学校 ⇒ 美保関中学校 美保関小 (美保関町) ○平成13年4月1日 美保関小学校+森山小学校+福浦小学校⇒美保関東小学校 ○平成13年4月1日 七類小学校+片江小学校⇒美保関北小学校 ○平成18年4月1日 美保関東小学校+千酌小学校+美保関北小学校⇒美保関小学校
<美保関町>	愛田 幾也(神戸市) 梅木 隆志(大阪市) 景山 麻利子(藤井寺市)
【八雲中校区】	八雲小 (八雲町)
<八雲町>	石倉 文行(豊中市) 藤田 宏(堺市) 藪田とし江(大阪市)
【八東中校区】	八東小 (八東町)
<八東町>	岩田 太(神戸市) 門脇 基(茨木市) 門脇 幸夫(大阪市) 川原 ひろ子(豊中市) 河野 宗子(草津市) 名誉会員:白木 みのる(芦屋市) 高瀬 保子(池田市) 高橋 小梅(東大阪市) 竹谷 奨(大阪市) 坪山 孝美(宝塚市) 西藤 篤子(伊丹市) 福家 篤子(豊中市) 松本 悟(大東市)
■【松江市外出身の会員】	
<安来市> <東出雲町> <出雲市> <斐川町> <温泉津町> <浜田市> <津和野町> <横浜市> <京都市> <大阪市> <明石市> <姫路市> <呉市> <萩市>	荒銀 昌治(西宮市) 千葉 潮(豊中市) 小松 哲夫(京都市) 桐原 善行(出雲市) 杉谷 百合子(京都市) 竹内 一郎(大阪市) 鳥屋尾 勇(大阪市) 金山 富美(松江市) 林 邦幸(京都市) 北島 幸子(豊中市) 青木 順次(守山市) 長谷川 緑(枚方市) 小川 ますみ(京都市) 名誉会員:三林 京子(大阪市) 小松 雅子(明石市) 藤原 浩子(三木市) 山本 達郎(姫路市) 荻田 チェミ(明石市) 守田 宣昭(松原市)

近畿松江会からのお知らせ

① 来年度総会のご案内

近畿松江会の来年度の総会は、平成23年3月19日にオープンする「お城の見える博物館”松江歴史館”」を訪問・見学することを兼ねて、松江で開催いたします。

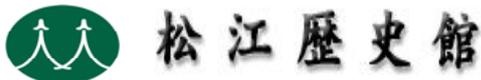
■日時:未定(5月中旬～6月上旬を予定)

■バスツアー(一泊二日)

■宿舎:ホテル一畑

■総会と宿舎での懇親会を予定

本年末には予告ご案内を、来年2月に詳細のご案内をする予定ですがご家族、ご友人お誘い合わせの上奮ってご参加ください。



◇ 施設の概要

【場所】城山公園から堀を隔てた東側、北殿町の北西の一角。

【外観】武家屋敷をイメージした和風の外観、松江城天守からの眺望も含め歴史的景観に配慮した造り。

【構成】中心施設である『本館』と、市指定文化財『松江藩家老朝日家長屋』、館の入口として新設する『長屋門』などの建物で構成、屋外には日本庭園も整備。

『本館』内には松江の歴史・文化について紹介する『展示エリア』、各種講座やくつろぎのスペースとなる『体験・交流エリア』、歴史資料の調査研究や収蔵などをおこなう『調査研究・管理エリア』を設置。館の周囲に残る江戸時代からの石積み水路なども整備。

◇ 展示の概要

城下町松江の歴史・文化などを展示。

【基本展示室】松江藩政や城下町の形成、城下の人々の暮らし、藩財政を支え松江を全国有数の富裕藩にした産業などを紹介。実物資料の展示のほか、映像や音声による紹介するコーナーを設置。

【企画展示室】松江をより深く知ることができる企画展、テーマ展を開催。

【茶室展示室】松江藩家老大橋家に伝わり八雲本陣(木幡家)に移築されたのち解体保存されていた茶室を復元展示。(約400年前に造られたもの)

◇ 学習支援・体験講座

今に息づく松江の歴史・文化を体験していただく色々な講座を開催。

・「お茶」、「和菓子づくり」、「燻蝋(はぜろう)づくり」、「甲冑(かっちゅう)づくり」など。

② ホームページ開設のお知らせ

近畿松江会

念願のホームページをついに立ち上げました。まだ骨格のみですが、会の趣旨やこれまでの歩み、会則やお知らせ、入会申し込み方法については、既に掲載をしています。

是非、下記にてアクセスいただき、ご意見、ご提言をお寄せください。又、リンクをご希望の場合は、事務局までお問い合わせください。

■近畿松江会URL:

<http://www.kinki-matsueikai.jp/>

注【近畿松江会】と称しバナー広告等を募集しているHPがありますが、当会とは無関係です。

③ 会報の愛称が“松江だんだん”に決定

会報の「愛称」を会員の皆様から募集をさせていただきましたが、金山富美さん(松江市)の「松江だんだん」に決定し、本号からスタートしました。

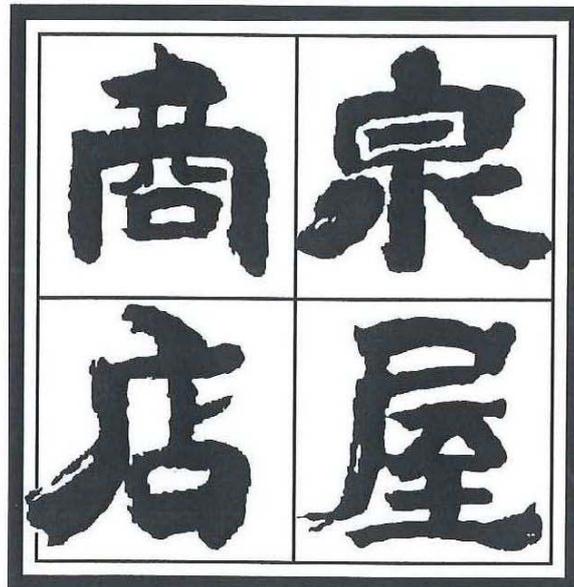
次点は荻田チエミさん(明石市)の「だんだん」で、お二人には記念の「八雲塗」を贈呈しました。多数のご応募、有難うございました。

こだわりの一夜干し

これは!といった山陰の魚だけを、恵曇の潮風で丹精いたしました。本物の味をお届けします。

ご贈答・お歳暮・お中元に…

創業天保年間



^え 恵 ^{とも} 曇 港

島根県八束郡鹿島町恵曇港
TEL.0852-82-0015/0056 FAX.0852-82-2700
URL : <http://etomo-izumiya.com/>



私達はあなたの笑顔が輝くように真心でサポートします

株式会社 **はーとケアグループ**

代表取締役 **下田 弘子**
(京都島根県人会 副会長)

介護保険対象
訪問介護事業所
あつたかハート伏見東

代替療法の普及・研修
シンパシー協会

介護用品・書籍の販売
ふわり



介護保険対象外
在宅介護サービス
ゆたかケアサポートサービス

代替療法
シンパシー施術
なぎつし シンパシーステーション

〒607-8162
京都市山科区柳辻草海道町12-7 タケナカビル5F
TEL 075-583-2611 FAX 075-592-1022
<http://www.heartcare-g.co.jp/>

**たくさんの商品の中から
選びたい あなたに合った保障を!!
保障のみなおしオーバHANDSに
是非お申し付けください。**

(総合保険代理店)

株式会社 **オーバHANDS**

代表取締役 **寺戸 正格**
認定生命保険士 **寺戸 すみ子**(松江市出身)

〒630-0134
奈良県生駒市あすか野北1丁目9-25
TEL 0743-70-0977 FAX 0743-70-0978
携帯 090-3054-5680
E-mail teratera@kvf.biglobe.ne.jp

取扱会社

オリックス生命	日本生命
アフラック	アクサ
(アメリカンファミリー生命)	
アイエヌジー生命	損保ジャパンひまわり生命
三井住友海上ぎらめき生命	

ユニフォームはレンタルの時代へ!!

HANSHIN 阪神ユニフォーム販売 有限会社



弊社はピンクリボン運動を
応援しています

本社 〒540-0021 大阪市中央区大手通2-3-17
TEL06-6943-6990 FAX06-6943-6980
E-mail : hanshin@hanshin-uniform.jp
奈良営業所 〒631-0846 奈良市平松町4-6-1
TEL0742-51-8226 FAX0742-44-4623
北大阪営業所 〒569-0041 高槻市上土室1-8-1
TEL072-690-1787 FAX072-646-6817

竹谷設計事務所
大根島企画



竹谷 奨

すすむ

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34
東洋軒ビル4階
TEL 06-6765-2101 FAX 06-6765-2104
携帯 090-3054-9159
E-mail : osktake@f.ijj4u.or.jp

出雲うまいもの市場
あの出雲うまいもの大会がご自宅にお届けする山陰の旬！！

一畑電鉄グループが厳選した山陰の特産品通販サイト。山陰の旬を自宅にお届けします。

出雲うまいもの市場 URL <http://www.izumo-umaimono-ichiba.jp/>

出雲うまいもの市場 一畑電気鉄道株式会社 物産事業部
〒690-0874 島根県松江市中原町49
TEL 0852-40-3300 FAX 0852-26-9679



全国に誇る松江銘菓

日本三名菓 山川・本舗 **風流堂**

★御注文はハガキ、電話で心安くお申付け下さい。

関乃五本松節保存会

会長 鷓 修一
審査部長 三角 邦男

〒690-1311
松江市美保関町七類3246-1
（株）サンライズ美保関メテオプラザ内
TEL・FAX 072-696-7334

(松江城の国宝指定を
目指しています)

社団法人 松江観光協会

会長 鷓 修一

〒690-0874 松江市中原町19番地
TEL 0852-27-5843
FAX 0852-26-6869

TEL 松江市母衣町五五十四
〇八五二二三一六一六

副会頭 田大池丸
江谷淵
泰厚功磐
彦郎二根

松江商工会議所

関西頓原会 会長
佐和田登記測量事務所（松江市）顧問
佐和田 丸
〒573-1182枚方市御殿山町11-22-610
Tel/fax 072-848-7417
[E-mail:malu122@nifty.com](mailto:malu122@nifty.com)

・松江事務所
佐和田ひとし登記測量事務所
〒690-0151松江市古曾志町567-174
Tel/Fax 0852-36-6589

松江市の土地家屋調査士事務所を関西へ移転計画中、仕事・事務所の提供・紹介等ご協力をお願いします

おかげさまで会社設立10周年
お部屋探し、不動産の売却、購入、不動産の事ならお任せ下さい。



有限会社 エクスパートナーズ



代表取締役 **内部 茂**

大阪府知事(1)第52344号
(社)大阪府宅地建物取引業協会会員
〒531-0075 大阪市北区大淀南 1-4-18
ウエスティンホテル向いです。
Tel 06-6452-5581 / Fax 06-6452-5455
URL <http://www.eks-p.com> / E-mail info@eks-p.com

bar BICE
TEL 06-6452-5581

お客様のお好みは白?赤?
貴方に合ったワインをお薦めします

Sugimoto Ayako
杉本 亜矢子

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町2-1-16
ご予約: TEL 06-6949-4737

劇団前進座(株)

京都営業所
事務長

木村 こずえ

〒605-0802
京都市東山区大和大路四條下ル大和町4-2
ナラフジビル503
TEL: 075-561-6300
FAX: 075-525-2882
E-mail: k-zenshinza@syd.odn.ne.jp
URL: <http://www.zenshinza.com/>

原 ますみ

京・祇園 花見小路四條下ル四筋目東入
(075) 561-1019

☎ 090-1146-6683

島根のPR
島根県人の溜り場

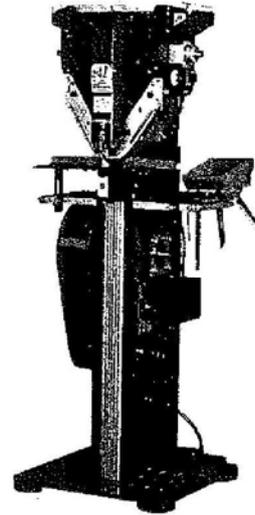
代表取締役
鳥屋尾 勇
(出雲市出身)

大阪市天王寺区玉造元町三―二
玉造店〇六―六七六八―九七六七
大阪市北区曾根崎三丁目十四番十号
曾根崎店〇六―六三六一―九九九

活旬
大栴
だいます

自動ホック打機 TM-200V

累積生産台数 8,000 台を誇る
伝統を持つ代表機種 TM-200 をベースに
プラスチックホック専用機種として、世界に
先駆けて開発



プラスチックホック

ベビーウェア及び各種アパレル製品に最適な
軽くてソフトな肌触りのプラスチックホック



プラスチックホック・精密機械製造販売

精密金型 設計・製作

武 田 精 機 株 式 会 社

TAKEDA SEIKI CO., LTD

代表取締役 武田 精

本 社

〒581-0041

大阪府八尾市北木の本

1丁目12番地

TEL: 072 (923) 5181

FAX: 072 (923) 5186

大阪営業所

〒541-0056

大阪府中央区久太郎町

1丁目8-11

TEL: 06 (4705) 7500

FAX: 06 (4705) 7433

三重工場

〒518-1155

三重県伊賀市治田

字大沢3090-23

TEL: 0595 (20) 9051

FAX: 0595 (20) 9052

篠崎倉庫株式会社

代表取締役会長 篠崎 治

〒561-0883 神戸市中央区栄町通4-1-11

TEL 06-6852-3365 FAX 078-361-3647

その他事業所 神戸市中央区弁天町 (シーガルハーバービル)
神戸市中央区栄町通 (エタニティ栄町ビル)
神戸市兵庫区築地町
神戸市灘区灘浜町 (シー・スクエア摩耶)
大阪市豊中市向丘 (豊中ビル)



～あなたの勇気がいのちを救う～
(心肺蘇生法とAEDの活用の普及)

NPO法人 大阪ライフサポート協会

事務局 松本 耕司
Koji Matsumoto

〒533-0033
大阪市東淀川区東中島1-17-5 ス튜디오新大阪416
TEL: 06-6370-5883 FAX: 06-6370-5884
E-Mail: matsumoto@osakalifesupport.jp
URL: <http://osakalifesupport.jp/>
大阪府AEDマップ <http://osakaaed.jp/>

空調機器・熱交換器専門製作
顧問
木村工機株式会社
木村 八重子
50005 大阪市中央区上町A番二二番
TEL 06-6764-1633
FAX 06-6764-1633 (代表)

〒534-0024 高 本 薫
(北高1期)
T E L 大阪市都島区東野田町三十七ー十七
〇六―六三五一〇八九六

近畿松江会

顧 問 和田 亮介

〒561-0883

豊中市曾根西町4丁目10-6-310

T E L 06-6852-3365

F A X 06-6852-3387

近畿松江会

常任幹事 井上 隆吉

〒569-1147

高槻市土室町2 3 - 4

T E L ・ F A X 072-696-7334

近畿松江会

会 長 荻田 運三郎

〒674-0074

明石市魚住町清水2249-5

T E L ・ F A X 078-943-1500

< 編集後記 >

寄稿集“松江だんだん”のページをお読みに
なられていかがでしたでしょうか？

これを考えたのは本文でも紹介しましたように、
松江に“だんだん”を言いたいというのが第一で
すが、もう一つの思いがあります。

それは、近畿松江会の“だんだん”の輪が広が
ることにつながるかという思いです。

平成の大合併で松江は広く大きくなり、近畿に
在住される方もおそらく何万人といらっしゃるので
しょうが、「輪」を広げるためには、近畿松江会の
存在を知ってもらい、身近に感じていただけるよう
にしていかなければなりません。

いろいろな方法があるのですが、「会報」の中
で、お互いの心の中にあるそれぞれの「ふるさと」
を「わが町・わが村」として語り合うページをつ
くるのも、その一つとして必要なのではないかと
考えた次第です。

子どもの頃に何げなく覚えた唱歌の「埴生の宿」
とは、土で塗ったみすぼらしい家のことを言うよう
ですが、粗末ではあっても我が家が一番楽しい
・・・。父母や兄弟姉妹、友垣（歌詞によれば、花
や鳥や月や虫も）・・・を含む「故郷を愛する心」が
一番大事だと歌っているようです。

寄稿集“松江だんだん”のページも、小学校
の校区ぐらいの感覚で、故郷への思いを語り継
いでいけば、“だんだん”の輪も広がっていく
のではないかと期待しています。

今回は準備不十分のスタートで、ご寄稿者には
失礼をいたしました。皆様にも次号執筆依頼が
届きましたら、いや届かなくても、勝手にでも、「ふ
るさと」への思いのご原稿をお寄せくださいますよ
うよろしくお願い申し上げます。

.....

それにしても、「昔の人はすごいなあ」と思いま
す。私事にわたって恐縮ですが、私の父は明治
42年生まれで生きていれば100歳をこえますが、
先日、古希を過ぎた長兄から、父は大正10年頃
の学生時代には枕木山南麓の我が家から松江の
学校まで徒歩！で通学していたと聞かされ（ナ
ニ！？）、さらに、昭和の初め頃でしょうか、師範

学校を出て最初の赴任地である日本海側の野波
の小学校へ、荷物を担いで「枕木山を山越え！」
して赴任していったと聞かされ（ナニナニ！？）、
末ッ子で戦後生まれの私はびっくりしました。（遅
すぎますが・・・）

ただただ貧乏なだけだったのかもしれませんが、
しかし、なんとワイルドな父の青春・・・。

確かに枕木山には「ここから千酌（野波？）へ降
りる」の道標があったことを記憶していますが、あ
そこを降りていったであろう約80年前の20歳前
後の父の姿を思い浮かべて、半ば茫然とした次
第でした。

会員の皆様も個々のご家族の中での語り草は、
沢山おありではないかと思えます。是非、そうい
ったお話もこの会報にご寄稿いただければと思
います。話はいくら遡ってもかまわないのではな
いでしょうか。何せ、我々は日本最古の「クニ」の
末裔なのですから。

.....

昨年号では、「小さく生んで大きく育てる」と申し
上げたこの会報ですが、本年号はその流れに沿
っておりますでしょうか？ 皆様の忌憚のないご
意見をお聞かせいただければ誠に幸いです。

最後になりましたが、会報発刊にご協力いた
だきましたすべての皆様に御礼を申し上げますと
ともに、発刊が遅れましたことを心よりお詫び申し
上げます。

担当(常任幹事・広報)松本耕司

近畿松江会 会報 第3号

■発行:平成22年9月

■発行者:近畿松江会事務局

〒543-0014 大阪市天王寺区玉造元町2-34
竹谷設計事務所内

TEL:06-6765-2101 FAX:06-6765-2104

E-mail: osktake@ff.ij4u.or.jp

■印刷・製本:株式会社 福谷洋紙店

〒537-0012 大阪市東成区大今里1-1-25

TEL:06-6978-2577 FAX:06-6978-2588